

2019年11月14日 第2396回例会
11月第2例会

RIテーマ ROTARY: ROTARY CONNECTS THE WORLD
「ロータリーは世界をつなぐ」

本年度会長テーマ
「原点を確かめ、もっと親睦、もっと奉仕を！」

「ロータリー財団月間」

◆ 会長時間 ◆

斉藤会長



RI理事会は、ロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリー

クラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

インターアクトは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

インターアクトクラブの活動内容は、少なくとも年に2回、プロジェクトを実施します（ひとつは学校または地元地域でのプロジェクト、もうひとつは国際理解を促進するプロジェクト）。

そして、次のような機会にイベントや活動に参加し、インターアクトの活躍を多くの人にアピールすることが奨励されております。

- ・世界インターアクト週間
- ・インターアクト
- ・ビデオコンテスト
- ・国連で開かれる「Rotary Youth Day」
- ・世界青少年奉仕デー（Global Youth Service Day）

★ 青少年交換受入学生 (月例報告書10月分)

2019-2020年度青少年交換受入学生

Vani Suresh

◎健康状態について (About your health condition)

10月25～26日：へん頭痛とめまいがありました。今は元気です。

◎通学・勉強状況について (About your school life)

学校は良いです。あき休みがありました。文化祭（11月10日）のじゅんぴをしています。

◎家庭生活について (About your life with your host family, etc)

家庭生活は良かった。楽しんでます。

◎行事参加状況 (About events you joined (Inc. where. when. etc))

ロータリーちく大会：10月27日：ふくやま。

◎旅行・見学等の参加について (About trips (Inc. where. when. etc))

神楽門前：日本のでんとうぶようを見ました。面白かった。〔10月18～19日〕

呉：大和ミュージアムに行ってせんすいかん見た。

おかあさんの子供のころの家に行った。〔10月14日〕

★ 青少年交換派遣学生 (月例報告書10月分)

2019-2020年度青少年交換派遣学生

奥田 麟太郎

◎あなたの健康状態について

基本的には良好です。しかし、月末に少し風邪気味になりました。日本から持ってきた薬を飲ん

で落ち着きましたが、今も鼻水が続いています。

◎通学・勉強状況について

先月と変わらず、バスで通学しています。

勉強状況は、良好です。ですが、月の初めに1週間NYに旅行に行ったので、その間の提出物や宿題を旅行から帰ってきた後にやったことが大変でした。英語のクラスで、NY旅行のプレゼンをすることになりました。スライドと原稿の用意を頑張っています。

◎家庭生活について

放課後は、週2回のテニスレッスンのお手伝いや週1回のテニスレッスン、宿題や読書をして過ごしています。ホストランドファザーがよく図書館に本を借りに行くので、時々一緒に行き、本を借りています。日本の小説を借りていますが、今度は英語の小説も借りてみようと思います。

◎行事参加状況（ロータリーの例会等）

10月18、19日に「Pumpkin Festival」がHalf Moon Bayでありました。1日目は学校が終わった夕方から集まり、翌日のPumpkin FestivalでHalf Moon Bay Rotary Clubがclam chowderのお店を出すので、その用意をお手伝いしました。ロボットになったように、clam chowderを入れる器のパンの中身をくりぬく作業をしました。その夜、女子はHalf Moon Bayにステイしている生徒のホストファミリーの家に二つのグループに分かれて泊り、男子は教会のユースハウスに泊りました。教会にバンドセットがあり、夜遅くまで楽器を弾いて楽しみました。こうして留学生同士が集まって泊ることができるのもロータリー交換留学だからこそだと感じました。2日目はPumpkin Paradeにロータリー交換留学生として参加しました。レッドカーペットを歩いているかのように周りからの歓声がすごくハリウッドスターになったようでした。その後はRotaryのお店のお手伝いをしました。空いた時間には、このお祭りの目玉である巨大カボチャを見に行きました。このカボチャは翌日に値段がつけられるそうです。自分の背丈ほどの大きさだったのでびっくりしました。

◎旅行・見学等の参加について

10月2～11日までNew Yorkに行きました。New York近くのOld Greenwichという町でのホストファザーの親戚の結婚式に参加するためです。1日目はホストブラザーのSkandaとNEYORKCOMICONに行きました。アニメやゲームについての祭典で、それぞれのキャラクターのコスチュームを着た人たちが

がたくさん集まります。初めてこのような祭典に参加したので、少し戸惑いましたが、楽しむことができました。2日目、3日目は結婚式に参加しました。インドの結婚式は4日間ほど続くと聞いてびっくりしました。そんなに祝うことがあるのかと思ってしまいます。披露宴のような式では、DJが音楽をかけてそれに合わせて何時間も踊るという独特な祝い方がありました。結婚式の間、正式な場以外ではずっとDJが音楽をかけるという感じでした。私も、ホストファミリーからもらったインドの服を着て、少しだけ踊りました。日本の結婚式では考えられないと思います。踊ることが一つの文化であるインドならではの結婚式だと感じました。4日目はNew Yorkに移動しました。5日目はホストファザーが仕事だったためホストブラザーのShasthaと二人でAmerican Museum of Natural Historyに一日滞在しました。子ども2人だけで不安でしたが、その不安も吹き飛ばすくらい大きな博物館で楽しむことができました。たくさんの動物の剥製や地球の歴史に関する展示がありました。5日目の夜にホストマザーが合流し、6日目はStaten IslandとWorld Trade Centerに行きました。Staten Islandに行く途中に念願だったStatue of Libertyを見ることができました。World Trade Centerは広島と同じように何も罪のない人たちがたくさん亡くなり、その過ちを来世に伝えるという場であることが私にとって身近に感じられました。7日目はMetropolitan Museum of Artに行きました。ゴッホやピカソなどの有名画家の貴重な作品をカメラに収めることができました。日本の美術館では作品を写真でとることができないので不思議な感覚でした。8日目はHigh LineとHudson Yardsに行きました。High Lineは現代アートと自然、歴史が融合して神秘的な空気を放っていました。私はそこで何かのパワーのようなものを感じました。Hudson Yardsは近代建造物でとても面白い形をしています。夜に憧れであったBroadwayでAladdinを見ました。本場のミュージカルは音楽までもが生オーケストラで、面白おかしく、笑えるシーンがいくつもあり、心に響きました。9日目の午前中はNew Yorkの町を散策しました。Rockefeller CenterやSt.Patrick's Cathedralという教会を見てまわりました。

今回初めてNew Yorkを訪れ、改めて偉大さを感じ、世界の中心であることを感じました。この旅行でたくさんの夢が現実になり、すべてのもの

が日本では絶対に体験できない経験をさせてもらい、感謝しています。土地も心も広いアメリカは規模が規格外です。

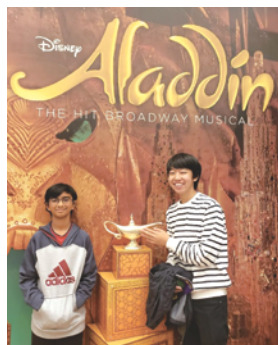
◎その他全般、問題点等

(ホストファミリーの移動予定がある場合、移動先・移動日を記入してください。)

10月26日に「Diwali」というヒンドゥー教のお祭りがありました。このお祭りは日本でいうお正月で年中行事のなかで最も大きいお祭りで、たくさんのランプと花火、インドの伝統料理でお祝いします。家にたくさんのお友達やご近所さんが集まりお祝いしました。日本ではあまり他人を家に招いてこのような行事をすることがないので、新鮮でいい経験になりました。お祭りの真っ最中に山火事防止の計画停電が起きましたが、たくさんのランプを使っていたので、逆にその状況をみんな楽しんでいました。停電は2日間続きました。2日目の夜は家族みんなで、ボードゲームをして楽しみました。なかなかない機会なので面白かったです。

10月31日に「Halloween」がありました。アメリカではとても大事な行事です。学校では多くの生徒が変装してきていました。驚いたことは、先生や事務の先生、校長先生全員が、教科ごとでテーマを決めて、変装をしてきて昼休みにそれを披露する時間があつたことです。日本ではあり得ないことです。アメリカの高校は日本以上にラフで、先生と生徒との距離が近いと感じています。放課後、家にたくさんのおもちゃたちがお菓子をもらうために訪ねてきました。一年に一度のこのHalloweenの日が子どもたちにとってとても大事な日だそうです。日本と文化の違いを改めて感じました。

こちらでの生活があつという間に3ヶ月たちました。英語は正直言ってまだまだです。聞くことはできるようになったと感じていますが、話すことがうまくできません。自分から話すことが少ないと思うのでどんどん自分の言葉にしていきたいと思ひます。



● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 原 君

本 日 (11月14日・木曜日)

会員数	87名	出席者	67名
欠席者	20名	ご来客	3名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	70名

前々回 (10月31日・木曜日)

出席率 100%



✳ 会報雑誌・広報委員会 中岡君

ロータリーの友誌紹介

✳ 米山奨学委員会 諏訪(昭浩)副委員長

第2710地区米山学友会

2019-20年度 賛助会員入会のお願い

第2710地区学友会は設立21年を迎え、会報誌発行・親睦旅行・企業訪問・他地区学友会および帰国学友との連携などを通じて、ロータリー奉仕の輪を広げ、国際交流を計るべく活動しています。本年度も学友会の活動を円滑に推進していくため、会員の皆様のご支援を賜りたく賛助会員としてご入会いただきますようお願いいたします。

✳ 青少年・インターアクト委員会 田原委員長

ひろしま協創高校インターアクトクラブとの交流事業について

11月10日(日)にひろしま協創高校インターアクトクラブとの交流事業のため、広島西ロータリークラブ11名、ひろしま協創高校インターアクトクラブ11名の22名にて、香川県まで遠征いたしました。

当日は幸いにも秋晴れの気持ちの良い天気のもとこんぴらさんでお馴染みの金刀比羅宮に785段の石段を登り参拝したのち、昼食後うどんの手作り体験をいたしました。

生徒たちとの交流とともに体験を通じた学びの場として有意義な時間を過ごすことが出来ました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



● 同好会報告

✳ 紫友会 隅田世話人

11月9日(土)、紫友会例会は鷹の巣ゴルフクラブにて廿日市RC、西南RCとの3RC合同懇親ゴルフ大会と同時開催いたしました。紫友会21名、総勢35名でラウンドしました結果、紫友会優勝はシニア優勝とともにOUT41 IN41 グロス82 HDCP13.5 ネット68.5で見事、小西君が勝ち取られました。おめでとうございます。準優勝は穴戸君、3位は上野(寛)君でした。BB賞は柴田君、バスグロはグロス74で田原君でした。また、ダブルペリア方式で開催された3RC合同懇親ゴルフ大会の団体の部優勝は西南RCでした。当クラブとは2ストローク差でした。個人の部では上位10名のうち梶本君の準優勝を含め5名が入賞いたしました。

次回例会は12月14日(土)広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにて開催し、同日は表彰式もかねて忘年会も開催いたします。忘年会のみの参加もできますので、奮ってご参加宜しく願いいたします。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (2名)

古屋君 (26年)

金本君 (24年)



ご結婚記念日おめでとうございます。

(13名)

井原君	齊藤君	藤田(明)君	
山木君	荒川君	蓼原君	部谷君
原君	三浦君	中村君	浜田君
南條君	小宇羅君		

●スマイルボックス SAA 村上(健)副委員長

😊加藤君(自主申告・大枚)

先週の11月7日(木)、長男 圭介に第2子が誕生いたしました。3130gの男の子で母子ともに元気です。名前は加藤 佑真(ゆうま)と申します。

2人目の孫の誕生に目頭を熱くすると同時に、これまでのご先祖さまに感謝する気持ちでいっぱいです。いつか皆様にご紹介する機会があるかと思っておりますので、その節はどうかよろしく願いいたします。

健やかに育ってくれることを祈念して出宝させていただきます。

😊柳原君(自主申告・大枚)

この度11月1日、総会におきまして廿日市商工会議所 副会頭に就任しました。新会頭である(株)シブヤの渋谷社長から依頼され、現副会頭の昭和教材(株)の岩根社長とやまだ屋 社長の中村君と微力ながらお手伝いさせていただくこととなりました。受けてしまってから後悔しなくなり、ビビりまくっております。

この度、初仕事で先週から一昨日迄ハワイの「コナコハラ商工会議所」親善友好団で訪問してまいりました。2006年の姉妹提携から毎年訪問しあう仲になっており、現地日本人会の方々とも親交を深めております。

皆様のご指導ご鞭撻をお願いしまして出宝します。

■新会員卓話



地域と環境と 再生可能エネルギー

中川 智彦君

再生可能エネルギーの現状と今後について、環境と地域循環、政府方針の観点からお話しさせて

いただきます。

本年4月に政府の方針として、2050年にはCO₂を80%削減し、将来的にはゼロにするという方向性が打ち出されました。これにより再生可能エネルギーはどの方向に向かっていくのでしょうか。

1970年代まで日本のエネルギーといえば石油でした。石油ショックの後、日本は原子力発電を増やしてエネルギー自給率を上げるとともに、脱石油として液化天然ガス(LNG)の利用を促進してきました。これにより、エネルギーの自給率がある程度改善され、石油への依存率も下がっていました。

ところが、東日本大震災で原子力発電所が停止すると、エネルギーの自給率が一気に落ちてしまいます。そしてその穴を埋めるために、天然ガス(LNG)の輸入量を増やし、石炭発電所をフル稼働して対応したわけです。が、これにより、日本のエネルギー資金が海外に流出することになりました。

そこで、その対応としてFIT制度を導入して再生可能エネルギーを増やそうとしています。

FIT制度とは、再生可能エネルギーで発電した電気を従来の電力事業者が高く買い取る、という制度です。この制度により、原子力発電所停止の穴を埋めることにある程度成功しています。

ところがその結果、FIT制度で電力会社が高く買い取った電力料金の差額を、電気の利用者、企業と家庭が応分に負担することになりました。では、誰がこの制度の受益者か、という疑問がでてきます。

そもそも産業、家庭のエネルギー資金はエネルギー輸入のために海外に流れています。これを抑えて再生可能エネルギーとして地産地消化し、国内、地域経済に資金を循環させ、さらにこの流れを環境問題が後押ししてくれているというのが理想的な形です。では、現実はどうなっているのでしょうか。

たとえば、太陽光発電の場合、家の屋根や地元の持ち山で太陽光発電している場合は、結果として地元経済に循環することになります。しかしながら、ソーラーパネルの生産は中国中心であり、実際にメガソーラー発電などでFIT制度を活用しているのは、地元ではないことが多くなっています。

さらに、日本と世界の再生エネルギーの価格を比較してみますと、相対的に日本は高い、という

のが現状です。こうした中で、どのように再生エネルギーと付き合っていくかが課題となっています。

パリ協定締結後の「脱炭素」をめぐる世界の動きを見ますと、ESG (Environment, Social, Governance) 投資が増えており、また、再生可能エネルギー100%の会社を目指す企業も増えていきます。

再生可能エネルギー100%を目指すかは悩むところですが、環境への投資を行わなければならない可能性は高いわけですから、これを手元に呼び込んでくるのが地域循環のために重要となってきます。

原発の代替として日本の再生可能エネルギー利用が本格的に始まりました。FIT制度によりメガソーラー発電所が各地に出現したわけですが、現在では生産性だけでなく、環境問題がメインになりつつあります。これまでは、再生エネルギーは費用を負担するものでした。現状では、国の方針も変化し、産業や国民への負担を抑えながらの脱CO₂へと向かいつつあります。

CO₂ゼロ経営を目指している企業も増えてきており、環境はコストから利益になろうとしています。

再生可能エネルギーはドラッグアの言うところの「すでに起こった未来」となっています。上手に付き合うことが大切になってきました。



明るい脳梗塞患者と スイソニア

垣見 直樹 君

今回卓話のお話をいただいたときに、何を話せばいいのか非常に悩みましたが、皆さんにもきつと来るであろう、いや必ず来る怖い脳梗塞について自分の実体験をもとにお伝えすることにしました。

西ロータリークラブの皆さんの年齢を調べてみ

ましたら、最高齢が尾形君の89歳、最年少が片山君の43歳で、平均年齢は62.9歳でした。皆さんは非常に脳梗塞に罹患し易い年齢の方が大勢いることがわかりました。

因みに私は去年の8月15日の終戦記念日に60歳で発症しました。

ホトトギス3つの俳句にあるように家康の【鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトトギス】ではだめで、とにかく辛くても痛くても努力を重ねて秀吉の【鳴かぬなら 鳴かせてみせよう ホトトギス】言い換えれば【動かぬなら 動かさせてみせよう ホトトギス】がリハビリには大切だと痛感しました。待っていたら筋肉が拘縮してしまい、二度と動かなくなるからです。リハビリには家康は全く合いません。その時に気が付いたのですが、ほとんどの患者が暗い顔をして、ため息ばかりついているのです。今まで出来たことが出来ないもどかしさや絶望感から、そうなるのでしょう。脳はホルモンで動いています。脳が活性化した状態でリハビリをした方が良いんです。何故ならば脳内物質のベータエンドルフィンやドーパミンやセロトニン等の快感物質が出た状態で、わくわく感や期待感を感じると回復スピードが格段に上がると思います。落ち込んだ否定的なホルモンを分泌した状態では治るものも治りません。

皆さんもいずれ脳梗塞になる可能性が高いとします。死亡原因の第3位は脳血管疾患です。死ななくとも後遺症で苦しむ確率はもっと高いはず。非常に身近な病気です。私も発症するまでは他人事のように思っていました。もしこれから脳梗塞になって後遺症や麻痺が残ったときに思い出してください。家康ではダメです。秀吉でやってください。メンタルが脳を変え結果も変えます。これは脳梗塞に限った話ではありません。これが私のこの度の脳梗塞から学んだ教訓です。

● 卓話予告

日時	テーマ
11/28(木)	広島ホームテレビアウンサー 大重 麻衣 さん (テーマ未定)

広島西RC 検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 齊藤 昭一
幹 事 加藤 博基

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会